

ユネスコ世界遺産センターに送付した資料一覧

- ・古都奈良の文化財の保全状況に関する報告書
- ・環境影響評価書最終案(抜粋版)(英語版・日本語版)
- ・環境影響評価書最終案(全体版)(日本語版)

【参考】「大和北道路」に関するこれまでの検討状況

1. 国土交通省の検討経緯

- 2001年7月～2002年3月 「地下水検討委員会」での検討
 - ・ 道路事業予定区域について、地下水の現状分析、道路建設による地下水挙動について予測評価を実施
 - ・ 京都大学大学院工学研究科大西教授他4名の学識経験者で構成
- 2002年3月～2002年7月 「文化財検討委員会」での検討
 - ・ 平城宮跡およびその周辺地域について、埋蔵文化財保護への配慮事項を検討
 - ・ 学習院大学文学部笹山教授他7名の学識経験者で構成
- 2002年9月～2003年10月 「大和北道路有識者委員会」での検討
 - ・ 道路事業の透明性を確保するためPI（パブリックインボルブメント）手続きを導入し、推奨すべきルート及び構造について提言
 - ・ 近畿大学経営学部斎藤教授他5名の学識経験者で構成

2. 奈良県都市計画審議会での手続き状況

- ・ 2004年11月～2004年12月 環境影響評価方法書の公告縦覧
- ・ 2006年6月～2006年7月 住民意見を反映した都市計画案を作成するための地元説明会実施
- ・ 2006年9月～2006年10月 環境影響評価準備書及び都市計画案の公告縦覧
- ・ 2006年10月 環境影響評価準備書及び都市計画案について地元説明会実施
- ・ 2007年5月 環境影響評価準備書に対する知事意見提示
- ・ 2007年11月 環境影響評価準備書に対する環境大臣、国土交通大臣意見提示

3. ユネスコ関係の経緯

- 2003年6月～2003年7月 第27回世界遺産委員会開催[パリ(フランス)]
 - ・ 世界遺産の保存を確実にこなうこと
 - ・ 引き続き地域住民に対する情報提供に努めること 等
- 2004年2月 日本政府が世界遺産委員会に書簡を提出
 - ・ 現在までのPIを含む検討状況について報告
- 2004年6月～2004年7月 第28回世界遺産委員会開催[蘇州(中国)]
 - ・ 世界遺産の保存を確実にを行うよう引き続き努力すること
 - ・ 地下水に対する影響を最小にすること
 - ・ 引き続き地域住民等に情報提供をすること 等

- 2006年2月 日本政府が世界遺産委員会に書簡を提出
 - ・ 現在の検討状況(トンネル構造による地下水への影響、地域住民等への情報提供など)についての報告
- 2006年7月 第30回世界遺産委員会開催[ビリニウス(リトアニア)]
 - ・ 環境影響評価の作成を、独立したコンサルタントに委託する可能性を検討すること
 - ・ 環境影響評価において、代替ルートの検討もすること
 - ・ 高速道路の計画が変更困難となる前に、環境影響評価の結果およびそのプロセスを記述した報告書を提出すること 等
- 2007年6月～2007年7月 第31回世界遺産委員会開催
[クライストチャーチ(ニュージーランド)]
 - ・ 貴重な遺物の損出につながるような地下水面の変動が高速道路建設によってもたらされないことを証明するため環境影響評価の最終提案に対するあらゆる意見、技術検討結果を慎重に検討すること
 - ・ 環境影響評価の最終案が出来次第、奈良県の都市計画審議会で最終決定が下される前に世界遺産センターに提出すること 等